

2月の市民相談				
相談日	内容	対象	時間	場所
5日(木)	年金相談	どなたでも (要予約)	11:00～16:00	市役所(河内)1階多目的室
12日(木)	市民相談		10:00～15:00	市役所(東本郷)小会議室3
	法律相談		9:00～12:00	市役所(東本郷)小会議室1
16日(月)	こころの健康相談		13:30～15:30	下田総合庁舎2階
24日(火)	交通事故相談		13:00～15:30	市役所(河内)会議室1ーA
25日(水)	ひきこもり相談		10:00～16:00	下田総合庁舎4階相談室
	市民相談		10:00～15:00	市役所(東本郷)小会議室3
	人権相談	どなたでも (予約不要)	10:00～14:00	下田市民文化会館
問合せ先一覧				
市民相談：市民保健課市民係（東本郷庁舎窓口②） ☎22215				
法律相談：市民保健課市民係（東本郷庁舎窓口②） ☎22215				
年金相談：市民保健課国保年金係（東本郷庁舎窓口③） ☎39222				
健康相談：市民保健課健康づくり係（東本郷庁舎窓口⑤） ☎22217				
人権相談：福祉事務所社会福祉係（東本郷庁舎窓口⑥） ☎22216				
交通事故相談：防災安全課消防安全係（河内庁舎2階） ☎4145				
ひきこもり相談：福祉事務所障害福祉係（東本郷庁舎窓口⑥） ☎22216				
こころの相談：賀茂保健所（賀茂健康福祉センター） ☎2056				

水道当番工事店			※修繕費は有料です。 対応時間 8:30～17:00
分担期間	工事店	電話番号	
1月10日(土)11日(日)	(有) 渡辺住宅設備	27-1300	
1月17日(土)18日(日)	ヤマト設備工業(株)	23-3570	
1月24日(土)25日(日)	須原設備	28-1161	
1月31日(土)2月1日(日)	杉本設備工業(株)	22-3040	
2月7日(土)8日(日)	(有) 菊地ポンプ商会	22-1085	

蓮西六須箕西西二11地区	〃台本丁〃	中櫻山山山松小鈴三み西羽	田井本梨し木澤お木田た田鳥	氏名
國靖英正正茂綾勝か英明	男子甫仁と一男お雄治じこ	29212426141918171817	82898569848890905391	死亡日 年齢

人のうごき		
住民登録人口 12月1日 増減		
男	9,104	-11
女	9,710	-25
計	18,814	-36
世帯数	10,211	
出生	5	転入 43
死亡	33	転出 51



乳幼児健康相談・健康診査（2月）		
相談日	内容	対象・時間・場所
10日(火)	お誕生日健康相談	対象者へ個別に通知します
	2歳児健康相談	
	2歳6か月児健康相談	
18日(水)	1歳6か月児健康診査	

子育てネットワーク通信

問合せ先：下田子育て支援ネットワーク ☎22216

●ひよこサロン
(未就学児と保護者の遊びと交流の場です)
参加費：無料
主催：社会福祉協議会 ☎3294
日時：2月19日(木) 10～12時
場所：道の駅「開国下田みなと」4階会議室3

SURF CITY NEWS

■報告
11月29日(土)、下田市 SURF CITY 構想完成記念シンポジウムを開催しました。第1部では、日本サーフィン連盟相談役 酒井厚志氏による基調講演を実施しました。第2部には、マリネット下田 鈴木直人氏、S.LEAGUE チェアマン 大野修聖氏、上智大学 あん・まくだなと氏、下田中学校サーフィン部顧問 渡井哲広氏によるトークセッションを行いました。約60名の方に参加いただき、サーフシティへの期待が高まる内容となりました。

戸籍のまど

11月16日から12月15日届け分 (敬称略)

お誕生おめでとう
あかるくすこやかに

地区氏名 氏名 保護者

11月届 六丁目 鈴木 すすき 瑚と碧 翼 翼

12月届 河内 菊池 小 穂華 俊介 竜太郎

東中	土屋まゆみ	清水みず	横山 正生	282525
須崎	清和	角谷 秀弘	数根 千歳	829460
12月届 六丁目	清和 秀弘	角谷 秀弘	数根 千歳	
蓮台寺	澤路 千歳	栗生 美通	吉佐美 延子	
箕作	大門 延子	外岡 みどり	大賀茂 傳一	
〃	外岡 重一	長友 重一	柿浜 金銀太郎	
白浜	金銀太郎	※戸籍のまどのコーナーに掲載を望まない方は、事前に係までお申し出ください。		



図書館だより 1月号

問合せ先：市立図書館 ☎20352 ●休館日／毎週月曜日、第4木曜日及び祝日
●新刊本／毎週水曜日

おすすめ!

ウマと話すための7つのひみつ
かわたさん 河田 棧 / 文と絵 偕成社 / 発行

ウマと話すための7つのひみつ
ウマと話すことができたなら？
「動物と話してみたい」という子どもたちの願いにこたえる「馬語」の入門書。与那国島でウマを相棒に暮らす著者が発見した、ウマと話すための7つの秘密を伝えます。

図書館カレンダー

休館日 1～3、5、12～13、19、22、26日
15日(木) ひよこサロン【移動図書館】

今月の展示

◆新春企画！おみくじ本
◆第174回芥川賞、直木賞受賞作・候補作
◆市内 ALT オススメ英語の絵本展

メデイカル通信

ヒートショックとは
循環器内科医 早瀬太一郎
1990年代後半、冬季の入浴中の急死事故が増加したことを報道する過程でメディアが「ヒートショック」という言葉を使い始めました。医学用語としては「入浴関連死」「寒冷暴露による循環器疾患」などが正しい表現ですが「ヒートショック」という言葉は広く定着しています。
急激な温度変化により血圧と脈拍が乱高下することにより失神・心筋梗塞・脳卒中などを引き起こす現象で、高齢者の家庭内死亡の原因として、ヒートショックが関与しているケースは年間1万人以上と推定されています。特に高齢者において入浴時に多発するといわれています。冬季の入浴前、脱衣所が寒い時（寒冷刺激）には、交感神経の過剰反応により血管が収縮して血圧が上昇します。入浴後は、温熱刺激により血管が拡張し血圧が低下します。この血圧の急激な変動が心血管系に大きな負荷を与えます。実験データでは若年者よりも高齢者の方が入浴により血圧と心拍数が急上昇しやすく、その後交感神経活動が低下しやすいことが示唆されています。この反応性の違いが冬季に高齢者の入浴に伴う事故（溺水のリスク）が多い理由と考えられています。
近年入浴に伴う事故のみならず、ヒートショックによる血圧変動が致死率40%の心筋梗塞を誘発し、心停止の発生が10月～4月に集中していることが報告されています。一方で断熱性能の高い住宅では、室内の温度差が緩和され、入浴時や起床時の血圧変動が抑制されることも知られるようになりました。現在、ヒートショックは予防可能な循環器リスクと考えられるようになっていきます。寒い季節になる前に、ヒートショックを予防するための方法が国立循環器病研究センターのホームページで閲覧する事ができますので、一度参考にしてください。

問合せ先
下田メデイカルセンター
☎2525

国立循環器病研究センター
ホームページ